

# 平成24年 消防概況



平成23年度土岐市消防団活動写真コンクール 市長賞

土岐市消防本部

# 火災概況

前年と比較すると、火災件数は同数で、死傷者数は増加しました。

○ **火災件数**

平成24年中における市内での火災件数は25件で、平成23年と比べると同数となりました。火災による損害額は33,080千万円増加しました。

○ **死傷者**

死傷者数は4名で、内訳は、死者2名、負傷者2名でした。

○ **消防団の出動**

25件発生した火災のうち、消防団が出動した件数は8件でした。

○ **原因別**

原因別では、たき火4件、こんろ2件、火遊び1件、放火1件、放火の疑い4件、その他7件、不明・調査中6件でした。

○ **火災種別**

火災種別ごとで見ると、**建物火災が16件**で最も多く発生し、車両火災と林野火災がそれぞれ1件、その他の火災が7件発生しました。曾木町で発生した工場火災では、大量に保管されたマグネシウムに引火し、激しく炎上しましたが、マグネシウムの特性上、水による消火ができないため、消火活動は困難を極め、鎮火までに時間を要しました。

○ **土岐消防の対策**

毎年火災により尊い命や財産が失われ、死傷者の多くは住宅火災で発生し、その多くは高齢者となっています。

平成23年から全世帯に設置が義務化された「住宅用火災警報器」ですが、岐阜県の設置率は71.3%で、土岐市では70.6%となっています。

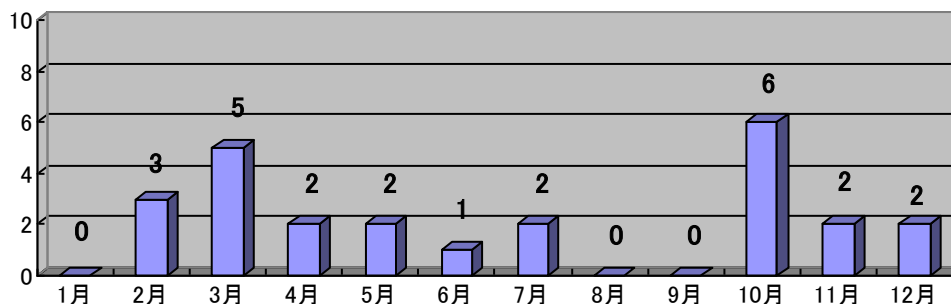
「住宅用火災警報器」は逃げ遅れの防止に非常に効果があるため、市内の更なる設置率向上のため推進啓発活動に努めてまいります。

## 過去3年間の火災状況と昨年との比較

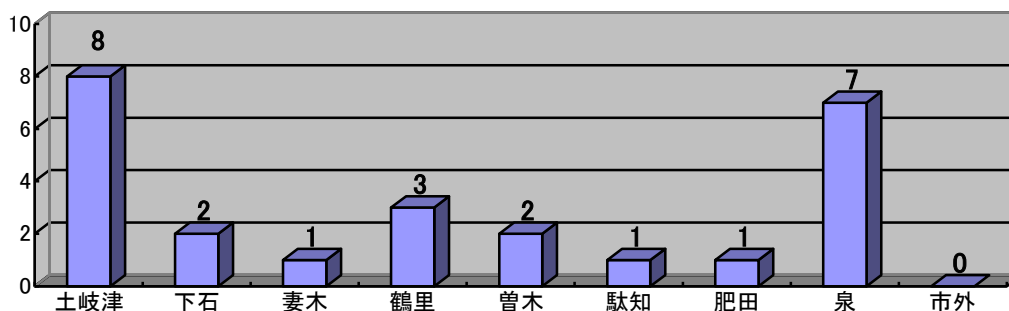
|         |        | 平成22年 | 平成23年  | 平成24年    | 増減       |
|---------|--------|-------|--------|----------|----------|
| 火災件数    | 合計     | 22    | 25     | 25       | ±0       |
|         | 建物火災   | 11    | 17     | 16       | -1       |
|         | 林野火災   | 0     | 2      | 1        | -1       |
|         | 車両火災   | 4     | 2      | 1        | -1       |
|         | その他の火災 | 7     | 4      | 7        | +3       |
| 者死傷数    | 死者     | 1     | 1      | 2        | +1       |
|         | 負傷者    | 3     | 2      | 2        | ±0       |
| 損害額（千円） |        | 3,383 | 78,155 | ※111,235 | ※+33,080 |

※平成24年12月24日の火災の損害額は含んでおりません

## 月別火災件数



## 地区別火災件数



## 救急概況

前年と比較すると、救急件数、搬送人員ともに増加しました。

### ○ 救急件数

平成24年における救急件数は2,339件で平成23年の2,276件と比較して、63件の増加となりました。これは1日平均約6.39件出動したことになります。10年前の救急件数は1,613件で約1.45倍に急増しています。

搬送人員は、2,230人で市民27.5人に1人の割合で救急搬送されています。近年は高齢化の進展等により救急需要は増加の一途をたどり、全国平均では搬送人員の52%が65歳以上の高齢者で、本市においても65歳以上の救急件数占める割合は1,418件と全体の60.6%を占めています。

(平成24年11月末日の人口61,474人より)

### ○ 最も多く発生した事故種別は急病

救急事故種別では、急病1,464件で平成23年と比較して55件の増加、交通事故213件で2件の減少、一般負傷361件で15件の増加、その他301件で5件の減少となりました。

### ○ 救急車の適正利用

全国的にもいえることですが、本市においても救急搬送した3割以上の方が、救急車で搬送が必要ない軽症程度の方でした。

消防本部では、4台の救急車を配備し、24時間皆さんの救急要請に対応

できるよう努めています。しかし、緊急性が低い救急要請が増えることで、本当に救急車が必要な人のもとへ、1秒でも早く救急車を到着させることができなくなってしまう。

大切な命を救うために、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

### ○ 救急救命士の処置範囲拡大

当市では、厚生労働省や消防庁からの助言などを得て、厚生労働科学研究費補助金「救急救命士の処置範囲拡大に係る実証研究」のモデル事業（全国39地区で実施）が行われています。

モデル事業の内容は、平成24年8月1日から平成25年1月31日までの間、東濃地域メディカルコントロール協議会（医療機関、医師会、消防本部などで構成）が主体となり実施するもので、医師の具体的な指示を受けて、救急現場や救急車内などで救急救命士が行える処置の範囲を広げた実証研究をするものです。

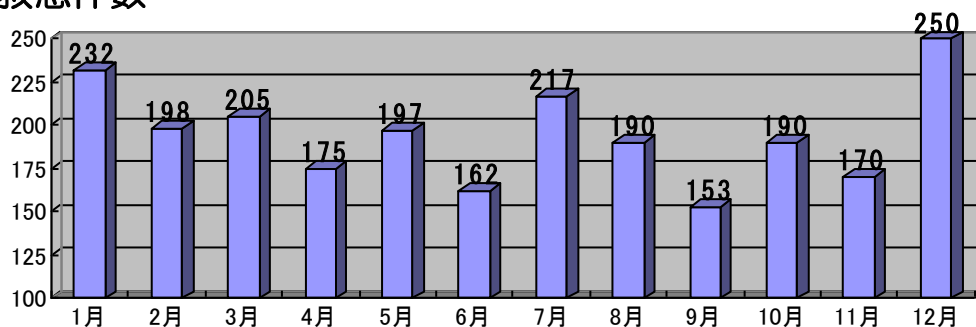
#### 【拡大される3つの処置】

- 低血糖の意識障害のある患者さんに対して血糖測定を行い、低血糖が確認された場合にはブドウ糖液を投与します。
- 喘息治療用の吸入薬（吸入β刺激薬）を所持している患者さんが重症喘息発作を起こした場合に、その吸入薬を使用します。
- 血圧が低下しており、心臓が停止する危険性があるショック症状の患者さんに点滴を行います。

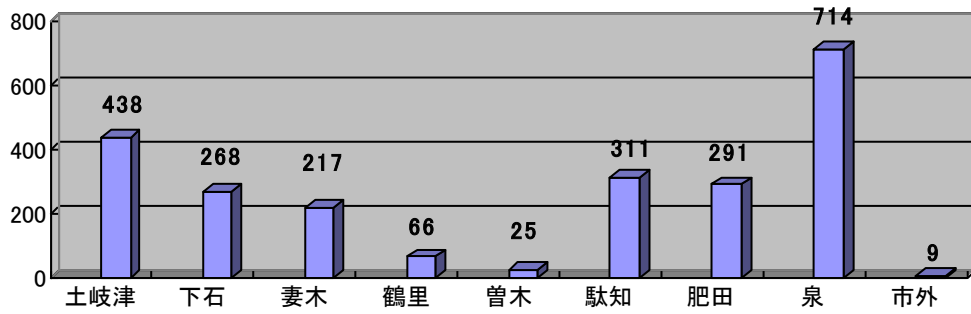
### 過去3年間の救急状況と昨年との比較

|      |      | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 増減    |
|------|------|-------|-------|-------|-------|
| 救急件数 | 合計   | 2,158 | 2,276 | 2,339 | +63   |
|      | 急病   | 1,265 | 1,409 | 1,464 | +55   |
|      | 一般負傷 | 347   | 346   | 361   | +15   |
|      | 交通事故 | 267   | 215   | 213   | -2    |
|      | その他  | 279   | 306   | 301   | -5    |
| 搬送人員 |      | 2,083 | 2,187 | 2,230 | +43   |
| 1日平均 |      | 5.91  | 6.24  | 6.39  | +0.15 |

### 月別救急件数



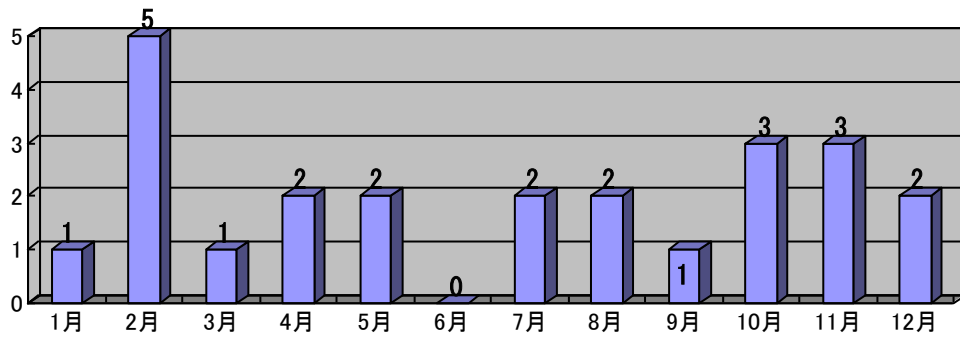
### 地区別救急件数



### 過去3年間の救助状況と昨年との比較

|      |      | 平成22年 | 平成23年 | 平成24年 | 増減 |
|------|------|-------|-------|-------|----|
| 救助件数 | 合計   | 22    | 24    | 24    | ±0 |
|      | 交通事故 | 17    | 17    | 13    | -4 |
|      | その他  | 5     | 7     | 11    | +4 |
| 活動件数 |      | 6     | 10    | 13    | +3 |
| 救助人員 |      | 6     | 11    | 14    | +3 |

### 月別救助件数



### 地区別救助件数

